



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



vol. 277

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 1月17日(火)
・「クラシノソコアゲ」応援団！ RENGOKキャンペーン (JR徳島駅前)
- ◎ 2月3日(金)
・2017春季生活闘争開始宣言徳島集会(阿波観光ホテル)
- ◎ 2月9日(木)～11日(土)
・なんでも労働相談ダイヤル (連合徳島会議室)



2017新年のご挨拶

日本労働組合総連合会
会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。連合運動に対する日頃からのご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

取り巻く国内外の社会・政治・経済に不透明感が漂っています。しかし、こんな時だからこそ、連合に集う私たちが「社会の不条理に立ち向かい、職場や地域で働く者の頼りとなる存在」として、明日への希望を確かなものとするべく、その期待に応えていかねばなりません。春季生活闘争を通じた「底上げ・底支え」「格差是正」やワーク・ライフ・バランス社会の推進、政策・制度実現の取り組み、そして「1000万連合」に向けた組織拡大、すべては一本につながっています。「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、職場・地域で「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識し、積極的な発信で運動のすそ野を拡げ、お互いに努力を重ねていこうではありませんか。

本年も連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝を祈念いたします。

連合徳島は1月10日(火)、阿波観光ホテルで「2017年連合徳島新年旗開き」を開催した。来賓には、飯泉徳島県知事・飯野徳島労働局長・遠藤徳島市長・岩浅阿南市長



構成組織組合旗パネルを背に、主催者代表挨拶をする森本会長

森本会長は、島連合徳島事務局長と藤田連合徳島女性委員長が担当し、舞台には昨年の新年旗開きにあわせて作成した「構成組織組合旗パネル」を掲示。冒頭、川

口連合徳島副会長から、旗開きへの参加者に対してのお礼とともに開会あいさつを述べた。主催者代表挨拶で森本連合徳島会長は、来賓をはじめ参加者に対して、日頃の連合徳島の諸活動へのご理解とご協力に感謝するとともに、神津連合会長作の「連合かるた」から読み解く「はたひらき」と題して、次のように、年頭の心構えを述べた。

をはじめとして行政関係者、経営者団体からは濱田徳島県経営者協会専務理事、政党関係から仁木民進党徳島県連代表・前川社会民主党徳島県連代表、さらに、各労働福祉団体・友好組織等から約60人をお迎えし、各構成組織からの参加者を含め、約130人で新年のスタートとなる旗開きを開催することができた。

口連合徳島副会長から、旗開きへの参加者に対してのお礼とともに開会あいさつを述べた。主催者代表挨拶で森本連合徳島会長は、来賓をはじめ参加者に対して、日頃の連合徳島の諸活動へのご理解とご協力に感謝するとともに、神津連合会長作の「連合かるた」から読み解く「はたひらき」と題して、次のように、年頭の心構えを述べた。

2017年 連合徳島 新年旗開き

「働くことを軸とする 安心社会」の構築を目指し、 連合徳島活動スタート

働くことを軸とする

安心社会の構築を目指し

連合徳島活動スタート

○ **働くことを軸とする**
成員として何らかの役割を果たして死んでいく。すべての人がこの社会において居場所と出番がある共生、共助の社会を実現するために、労働組合のみならず労働福祉団体の力量を高めた運動を進める必要がある。

○ 来賓歓迎地方連合

(連合徳島)

そのためにはより多くの県民に連合運動や労働福祉団体の運動を知ってもらう必要がある。

連合徳島のみならず、中央、西部、南部の地域協議会やライフサポートセンターが連合や労働協会の運動を知ってもらうとともに、地域住民の方からの様々なご意見がいただける居心地のいい情報交換の場となるようさらに努力したい。

○ 教育費用は社会で支えて

○ **教育費用は社会で支えて**
昨年は、学校を卒業したとたんにも多額の借金を抱えてしまふ若者の奨学金問題が大きな社会問題となった。連合も労働協と連携し、「給付型奨学金」の創設を訴えてきた。

政府もようやく「給付型奨学金」の設立に動き始めたが、依然として給付を受けられるためのハードルは高く、金額も十分とは言えない。日本にとつて最大の資源は、人材である。民進党が掲げる「人への投資」を具体化させるためにも今年想定される衆議院総選挙において、ここ徳島では私たち連合が推薦する「仁木博文」の当選に向けて全力を挙げて取り組んでいく。

○ **来賓からは、各参加団体を代表して、飯泉徳島県知事・飯野徳島労働局長・遠藤徳島市長・岩浅阿南市長・濱田徳島**

島県経営者協会専務理事・河村四国労働金庫常務理事・仁木民進党徳島県連代表・連合徳島議員ネットワーク議員団からは各議員近況報告の後庄野代表からご挨拶を受け、それぞれの立場から連合徳島の諸活動に高い期待感が寄せられていることを実感するとともに、多くのご示唆をいただくことができた。

参加者間の歓談は、新居連合徳島会長代行による、来賓あいさつに対する御礼と元氣溢れる乾杯の発声によりスタートした。毎年開催している旗開きではあるが、連合徳島が結成されて29年目を迎えて30年という節目に向かって活動を進める2017年となる。連合徳島に集う各構成組織と組合員にとつて元氣で勢いのある年となることを祈るとともに、日々の活動でも大切にしたい「調和」をイメージし、個々の楽器がそれぞれの持ち味を生かし一つの曲を奏でられる、オールディズバンドに演奏いただいた。これらの趣向に賛同いただき参加者もあり、さらに会場を沸かせた。

閉会あいさつで、下連合徳島副会長は、来賓組織ならびに構成組織に対して連合徳島の活動に引き続きご協力をいただくことをお願いし、2017年旗開きを締めくくった。



会場を沸かせたオールディズバンド

2017新年のご挨拶



日本労働組合総連合会
徳島県連合会
会長 森本 佳広

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、連合徳島の運動に対しましてご支援・ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

昨年は、安倍政権の暴走を止めるべく参議院選挙に全力で対応しましたが、初めて高知県との合区となった選挙区選挙では、推薦候補が涙のみ、比例区では、旧民主党を母体として新たに結成された民進党の支持率の伸び悩みもあり、連合組織内の12名の候補者のうち8名が当選するにとどまりました。

次期国政選挙として想定される衆議院選挙において民進党は、各選挙区の情勢を冷静かつ詳細に分析し、有権者が政治に求める課題解決に向けた分かりやすい政策を打ち出し現政権と対峙していく必要があります。

連合徳島におきましても、昨年の中間期大会において衆議院徳島1区で民進党の公認候補として立候補が予定されている仁木博文氏を推薦することを決定し、当選に向けて民進党県連をはじめ関係団体との協議を精力的に行い支援体制の確立を急ぐことを確認したところであります。

さて、2017年春季生活闘争については、昨年末に徳島県共闘会議を発足させ、2月3日の開始宣言集会までにそれぞれの組織において準備を進めて頂くようお願いしたところであります。今年の春季生活闘争は、いわゆるアベノミクスの幻想から脱却し、労使の知恵と努力を結集して「経済の自律的な成長」を目指すとともに、社会の安定性の確保に向けて、この間の「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続させ、さらに広がりを持たせるためのたまたかいです。同時に、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から「働き方」「働かせ方」の見直しを進めることも重要です。

そのためにも「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンをはじめ、地域活性化を促す「地域元気フォーラム」の継続的な開催など、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を拡げ、連合本部・構成組織・地方連合会が連携して努力を重ねていくことが重要であると考えます。

これらの重要課題以外にも労働者を取り巻く多くの課題に皆様方と一緒に連合の一員としてより一層積極的に取り組んでまいりますので、本年も昨年以上に連合徳島の運動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。